

令和7年度 MAYU を活用した地域内交通運行事業 結果報告

【主旨】(次世代モビリティ活用実証事業共通)

低速電動コミュニティバス「MAYU」の活用により、従来の公共交通ネットワークを補完するとともに、車両を活用した外出やコミュニケーションの機会創出による「心身の健康増進」や「環境負荷の低減」、「移動に関する社会課題の解決」を図るため、地域の実情に応じた交通手段の確保と活用方法について検証を行う。

【地域内交通運行事業】◆令和6年度からの継続事業

1 概要

- ・ 地域内の新たな移動手段の確保及び地域の課題解決や魅力向上に資することを目的とし、低速電動コミュニティバス「MAYU」を用いて実証運行を行う。
- ・ 地域の交通について自主性を持ち継続して活動できる市内の公共的団体等から1団体を選定し、市が事業を委託。以後、選定した団体が主体となり、計画から分析まで一連の事業を行う。

2 募集方法等

- ・ 令和7年5月1日(木)の区長連絡協議会において募集。6月30日(月)まで受付。
- ・ 「第8区」から応募あり。前年度に引き続いての応募だが、当該地域は住民が公共交通に関する地域課題の解決に積極的であり、またドライバーを地域内の住民で担うことや、前年度の実績を踏まえた上で更に利便性の高いルートを設定するなど、ブラッシュアップした運行内容を検討しているため採用とした。

3 実施内容等

①実施検討・準備

- ・ 第8区、交通ビジョン推進室、榊桐生再生、ゆっくりズム研究所の間で運行内容を協議。運行日時やルートを決定。
- ・ ドライバーを地域内の住民から選定。候補者にゆっくりズム研究所によるMAYUの運転講習を実施。第8区内でシフトを決定し運行にあたる。
- ・ 講習受講者は11名。そのうち、7名が実際に運行を担った。

②運行内容(別紙1)

- ・ 白髭集会所で開催されるサロンへの送迎を主とし、堤町1丁目(教育研究所まで)、堤町2・3丁目(修道院まで)、元宿町(桐生駅南口回り)の3地域を定時定路線で運行。(各1日4便・毎週月、金曜日)
- ・ 前年度の運行を踏まえ、ドン・キホーテ前や西桐生駅を停留所に追加。また、地域ドライバーが運転しやすいルートに設定し、ルート上なら停留所以外でも乗降可能とした。
- ・ 運行期間：令和7年11月10日から令和8年3月6日まで(29日間)
※ ほか、地域ドライバーの運転講習のため1日分運行

③実施結果

- ・ 利用者数：187人(29日間・1日平均6.45人)

4 検証結果

《利用者》

- ・ 利用人数は延べ187人（1日平均6.45人）であり、昨年度の（325人/30日間・1日平均10.8人）の6割程度に減少した。実施時期が2か月程度遅く、気温が低くなって出足に影響したことや、年末年始を挟んだことが要因と考えられる。
- ・ 昨年度と同様、白髭集会所でのサロン活動を中心に運行計画を組み立てた点は効果的であり、サロン活動を中心とした住民同士の親睦や、移動販売車による買い物のお機会を組み合わせることで、住民の生活の質を向上させる効果がある。
- ・ 次世代モビリティを活用した地域内交通の運行は、輸送の効率性を重視する既存の公共交通では対応できない「交通弱者」のニーズに応えるもの。利用人数が減ったことに対し、否定的な評価をする必要はないと考える。

《地域ドライバー》

- ・ 地域ドライバーの運転はみな丁寧で、全体を通して問題なくスムーズに実行できた。
- ・ 11名が講習を受け、実際に7名が運転を担った。このような人材が地域に多く存在するということが分かった点は大きな発見であり、成果であった。
- ・ 安全性については、MAYUの速度が遅いことによりリスクを軽減している。
- ・ ドライバーと利用者が同じ地域住民であることで、利用者の声が届きやすく、地域のニーズを的確に反映させた柔軟な運行につながる可能性を感じる。

《持続性》

- ・ 持続性を検討するにあたり、特に費用がかかるのは人件費（ドライバーの日当）と車両のレンタル料。
- ・ ドライバーの日当は、今回はゆっくりズム研究所で手配する他のドライバーと同額としたが、継続して実施するのであれば地域内で設定することが望ましい。
- ・ 車両のレンタル料を値下げすることは難しいが、複数の活用事例の間で金銭負担を分散させるなど、工夫次第で比較的安価な利用も考えられる。

《今後の展開》

- ・ 2年間にわたり地域住民がMAYUの運行に取り組み、ブラッシュアップを図りながら遂行したことは、地域内交通を「与えられるものではなく、自分たちで作るもの」と捉え、実施する道が開けたものと考えられる。
- ・ 今後は、本事業で得た知見を活かし、地域が自ら運行計画や採算性についても検討し、「地域内交通の自治」の実現に向けた取り組みを行う。
- ・ 令和8年度も継続して募集。（1地域）
令和8年5月1日（金）の区長連絡協議会にて募集。6月30日（火）まで受付中。
令和8年度で3年目となるため、費用を全額市が負担する実証運行は終了とし、今後は持続可能な公共交通としての可能性について、令和8年7月に設置予定の「おりひめバス路線等再編・見直しの検討を行う組織」の中で、おりひめバスを補完する移動手段として検討していく。